



powered by  
RYNAXYPYR®  
ACTIVE INGREDIENT

## 側条施肥用殺虫殺菌剤

農林水産省登録  
第23229号

「フェルテラ®」、「RYNAXYPYR®」はFMC Corporation またはその米国および  
その他の国の子会社・関連会社の登録商標

# 側条オリゼメート® フェルテラ®

## 顆粒水和剤

殺虫剤分類	28
殺菌剤分類	P2

クロラントラニリプロール・プロベナゾール水和剤

いもち病に  
安定した効果の  
「オリゼメート®」



期待の  
新世代殺虫剤  
「フェルテラ®」

ペースト肥料に混和して  
側条施肥田植機で  
本田に施用します。

田植

施肥

病害  
防除

害虫  
防除

を省力的に同時に処理!

# 側条オリゼメート<sup>®</sup>フェルテラ<sup>®</sup> 顆粒水和剤

●有効成分: クロラントラニプロロール……1.5% プロベナゾール……48.0% 人畜毒性(製剤): 普通物※

※毒劇物に該当しないものを指している通称

## 特長

### いもち病・害虫にWの効果 & 省力的な側条施用

#### 水稻のいもち病への抵抗力を誘導

定評のあるオリゼメート<sup>®</sup>(プロベナゾール)が水稻のいもち病菌への抵抗性を誘導し、安定した防除効果を示します。直接殺菌作用が無く、耐性菌出現の可能性が少ない「植物防御機構活性化剤」です。

#### 水稻の害虫に新たな効き目

フェルテラ<sup>®</sup>は、これまでのどの殺虫剤グループとも異なる、まったく新しい次世代の殺虫剤です。新しい作用性を有していることから、既存の殺虫剤に抵抗性を示す害虫に対しても優れた効果を示します。

### 適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロロールを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネドロオウムシ イネミズゾウムシ	500g/10a	移植時	1回	ペースト肥料に混合し側条施肥 田植機で施用する。	1回	2回以内(移植時までの処理は1回以内)

### 上手な使い方

**1** 10aに施用するペースト肥料をバケツなどの容器に入れて下さい。

**ペースト肥料の準備。**

**2** 本剤500g(10a当りの使用量)を同重量(500ml)の水に入れ、よく攪拌して下さい。

**オリゼメートフェルテラ濃厚液をつくる。**

**3** 所定量のペースト肥料にオリゼメートフェルテラ濃厚液を混和し、棒などでよくかきまわし均一に混合して下さい。

**ペースト肥料にオリゼメートフェルテラ濃厚液を混合する。**

**4** (ペースト肥料・オリゼメートフェルテラ混合液)を側条施肥田植機の肥料タンクに注入する。

**5** 田植作業を始める。  
作業手順と施肥量の調整などは、側条施肥の手順どおりに行ってください。

## 側条オリゼメート<sup>®</sup>フェルテラ<sup>®</sup> 顆粒水和剤の Q&A

- Q** 側条オリゼメートフェルテラ顆粒水和剤・ペースト肥料混合液を移植前日につくり、翌日使用することはできないでしょうか?
- A** 移植直前に混合し、その日以内に使いきって下さい。
- Q** 水に溶かさず、直接ペースト肥料に混合できないでしょうか?
- A** 必ず同重量の水に入れ、よく攪拌してからペースト肥料に加えて下さい。
- Q** 側条オリゼメートフェルテラ濃厚液をつくる場合、用水路の水を使用してもよいですか?
- A** 必ず水道水を使用して下さい。
- Q** どのようなペースト肥料と混用できますか?
- A** 現在確認したペースト肥料では、混用は特に問題ありませんでした。ただし、できるだけ移植直前に混合し、当日中に使いきって下さい。
- Q** 二層タンクの二段施肥田植機の場合、どのように使用すればよいでしょうか?
- A** 上段に加用して下さい。従って薬剤量は上段のペースト施肥量で換算して下さい。
- Q** 本剤を処理した場合、その後のいもち病防除はどうすればよいでしょうか?
- A** 本剤側条施用で従来のオリゼメート粒剤3kg本田散布と同等の薬効と持続期間が確保されますので、慣行の穂もち防除剤と体系処理して下さい。
- Q** 本田で田植後に使用できないでしょうか?
- A** 側条オリゼメートフェルテラ顆粒水和剤は側条専用剤ですから、使用しないで下さい。

### 使用上の注意

- ① 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、薬剤の調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
  - ② 使用の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
  - ③ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
  - ④ かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
  - ⑤ 夏期高温時の使用を避けて下さい。
- 魚毒性等…養魚田では使用しないで下さい(魚類)。河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用して下さい(甲殻類)。使用後は水管理に注意して下さい。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきって下さい。器具及び容器の洗浄は、河川等に流さないで下さい。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 保管…直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場や用水路などに放置せず、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

本製品は農業用殺虫殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないで下さい。

お問い合わせ／ご注文は